

## 第6章 地域防災力の発展のためのしくみづくり

### 1. 緊急地震速報配信事業の事業化

平成20年度でコンソシアムは終了することを受け、Ai - SYSTEMの構築やこれまでの研究成果をもとにシステムを継続化し、本システムを地域防災・企業防災支援の一環とすることも含め新会社を設立した。

新会社の内容および事業化による活動実績は以下のようにまとめられる。

#### 1-1. 新会社内容

- ・会社名：株式会社エーアイシステムサービス
- ・会社場所：〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247
- ・社員構成：以下3名

代表取締役社長	正木 和明
取締役	西村 雄一郎
取締役	小松 幹雄

- ・資本金：700万円

#### 1-2. システムの改良およびAi - SYSTEMの構築

システムの改良は、これまでの「Ai - One 単一地点型システム」に、「Ai - M10 多地点型システム」および「Ai - G30 グループ型システム」を新規構築し実用化した。さらに、緊急地震速報情報配信のシステムに地震発生後の対応を考慮したC - CASTメール、企業防災支援GISも加えた、総合システムとしてのAi - SYSTEMの構築を進めた。

地震情報配信システムは、その経済性・他用途性を前面に押し出すことにより既往顧客設置システムの新システムへの変更や、新規顧客の開拓に活用した。

既往顧客システムの変更：(株)東海理化(増設含む)、愛三工業(株)(増設含む)

新規設置顧客：大豊製紙(株)、(株)ニッパ、(株)ソミック石川、トヨタ自動車大学校、名古屋工業大学

#### 1-3. 対外活動記録

顧客への説明会、展示会等は以下のように実施・参加した。

- ・企業説明会：6月5日、地域防災研究センターにてAi - SYSTEM設置企業へのシステム説明実施。
- ・建設技術フェア：10月29日～10月30日、中小企業振興会館(吹上)、Ai - SYSTEMを展示
- ・フロンティア21エレクトロニクスショー：11月11日～11月13日、中小企業振興会館(吹上)、Ai - SYSTEMを展示
- ・緊急地震速報展：12月4日～12月5日、愛知工業大学、Ai - SYSTEMを展示

## 2. あいぼう会 平成 20 年度活動報告

阿部亮吾

### 1. あいぼう会の活動趣旨

企業防災ネットワーク「地震につよいものづくり地域の会」（通称「あいぼう会」）は、企業防災を通じて地域防災力の向上を目指す地震防災コンソシアムのプロジェクトの一環として 2006 年 12 月 11 日に設立された、東海地方における企業の自主防災組織である。

あいぼう会の活動は、企業の災害時における被害の軽減、復旧の迅速化を目指すことを目的とし、会員が防災に関する知識の習得や会員相互の交流・切磋琢磨・協力を行うことによって、企業防災力ひいては地域防災力を向上させることを目指している。

### 2. 活動形態

2008 年度（平成 20 年度）のあいぼう会では、5 月～4 月の 1 年間を通じて毎月第 4 水曜日に以下のような活動を行った。

- ・例会 あいぼう会全体の年間活動方針や年間計画の承認を行う（年 1 回開催）
- ・全体会 分科会の進捗報告を受け、分科会相互の情報の共有を図る（年 4 回開催）
- ・勉強会 災害や防災に関する勉強会を行う（年 2 回程度開催）
- ・講習会 災害や防災に関する講習会を行う（年 2 回程度開催）
- ・見学会 施設の防災対策等の見学を行う（年 2 回程度開催）
- ・分科会 分科会ごとにテーマを決めて活動する（月 1 回開催）
- ・運営委員会 運営方針決定、入会者承認、分科会の報告等を行う（月 1 回開催）

### 3. 平成 20 年度活動報告

あいぼう会の平成 20 年度活動実績を表 1 に示す。分科会、運営委員会は月 1 度、同じ日に時間をずらして開催された。例会、全体会、勉強会・講習会・見学会も分科会開催と同日に時間をずらして開催された。

表 1 平成 20 年度活動実績

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
日	5/21	6/25	7/23	8/27	9/24	10/22	11/26	12/24	1/28	2/25	3/25	4/22
(1) 例会 (総会、講演会、交流会)	◎											
(2) 全体会		①				②				③		④
(3) 勉強会				①	②				③			
(4) 講習会								①				
(5) 見学会			①				②				③	
(6) 分科会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
①第1分科会 (PL:鈴木)												
②第2分科会 (PL:佐々木)												
③第3分科会 (PL:竹山)												
(7) 運営委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### (1) 例会

◎ 2008 年度例会（5 月 21 日）

例会では以下の活動が行われた。

#### ・防災セミナー

テーマ：「あいちの中小企業に B C P を！」

講師：二村純司（愛知県防災局災害対策課）

#### ・分科会〔2007 年度活動報告会〕

#### ・総会〔2008 年度分科会活動計画発表〕

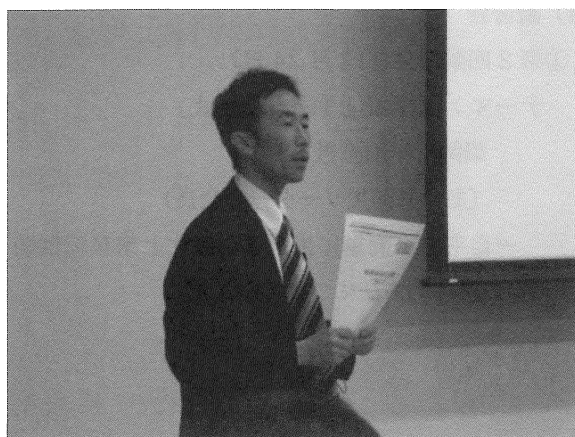


写真 1 防災セミナーの風景

### (2) 全体会

いずれも開催場所は愛知工業大学（本山キャンパス）で、各分科会リーダーから分科会の進捗状況について報告を受けた。

①第 5 回全体会（6 月 25 日）

②第 6 回全体会（10 月 22 日）

③第 7 回全体会（2 月 25 日）

④第 8 回全体会（4 月 22 日）

※回数は通算表記



写真 2 分科会報告の諷詠

### (3) 勉強会

①第 2 回勉強会（8 月 27 日）

テーマ：「中央防災会議による猿投－高浜断層被害予測に関する解説」

講師：正木和明（あいぼう会会長）

－愛知県の三河を走る猿投－高浜断層に関する中央防災会議の被害予想を学んだ。

②第 4 回勉強会（9 月 24 日）

テーマ：「緊急地震速報利活用の問題点」

講師：竹山金伍（(株) 東海理化 総務部）

－企業において緊急地震速報を利活用する可能性と問題点について学んだ。

③第 5 回勉強会（1 月 28 日）

テーマ：「緊急地震速報を利用したシステムの現況と Ai システムの位置」

講師：小松幹雄（株式会社エーアイシステムサービス）

－緊急地震速報システムの現況到達点と Ai システムの独創性について学んだ。

(4) 講習会

①第2回講習会（12月24日）

テーマ：「耐震化と家具転倒防止」

講師：早川澄男

（あいち防災リーダー会会長）

－自宅でも簡単に出来る耐震化と家具転倒防止の  
具体的方法について学んだ。



写真3 講習会の風景

(5) 見学会

①第3回見学会（7月23日）

見学先：自衛隊 春日井駐屯地

－自衛隊による東海地方の災害時の救援体制について見学した。

②第4回見学会（11月26日）

見学先：NTT西日本－東海 笹島ビル

－東海地方の通信インフラの防災対策ならびに災  
害時対応について学んだ。



写真4 NTT見学会の風景

③第5回見学会（2月25日）

見学先：ミッドランドスクエア

－超高層ビルの防災対策ならびに災害時対応について学んだ。

(6) 分科会

①第1分科会

テーマ：企業防災ビギナー

リーダー：鈴木与士樹〔三洲電線株式会社〕

－第1分科会2008年度の活動は、愛知県が策定した中小企業向け事業継続計画（BCP）策定マニュアル「あいちBCPモデル」のコンパクト版を分科会メンバー各社で実践し、各社の防災対策がどこまで進んでいるのかをチェックするとともに、各社の事情に即した防災対策を促進する活動を主に行った。

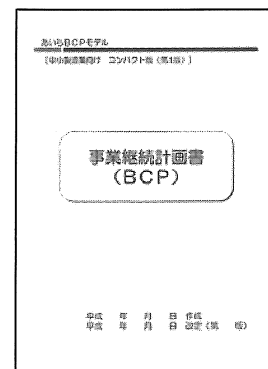


図1 あいちBCPモデル

②第2分科会

テーマ：実践的な防災訓練

リーダー：佐々木務〔中部鋼鉄（株）〕

－第2分科会2008年度の活動は、企業のBCPを考える上で特に防災訓練のあり方に着目し、「実践的で効果的な防災訓練」をどのように実施したらよいかのノウハウを「地震リスクアセスメントシート」としてまとめた。

表2 地震リスクアセスメントシート（例）

大区分		中区分	アセスメント項目(案)	解説	①アセス内容・評価 尚診であり現状レベルを項目別に把握・評価する。	②マニュアル作成がイタズ 必要とするマニュアル名・内容などの要求事項を提案する。	③訓練がイタズ 特に先マニュアルについて訓練を要するものは、訓練計画作成上の要求事項を提案する。	
災害リスクアセスメントシート 会社名/中区分/カテゴリー/【オフィス編】 <span style="float: right;">[記載例]</span>								
作成日 _____ 更新 _____								
災害対象 _____								
適用範囲 _____								
アセッサ(作成者) _____								
確認者(責任者) _____								
(1/1)								
予防対策	耐震措置		・建物・設備耐震性の確認(診断&改修計画等)					
			・OA機器等の耐震固定対策 ・ガラス飛散防止対策 ・ライフラン耐性の調査・確認 ・構内施設対策(ブロック塀等) ・事業者周辺情報(公的ハザードマップの入手)					
	退避・ハックアップ措置		・OA機器のデータ退避対策 ・通信設備の耐震化・複線化(ハックアップ共)					
			・非常用電源等の確保					
	非常用電源措置		・非常用電源等の確保					
備蓄措置		・食料・飲料水等の確保(備蓄) ・医薬品・救急用具・日用品(寝具・簡易トイレ等)の確保						
防災体制の整備			・防災組織体制表・役割表の設定 (防災組織単位ごとの役割分担) ・社員行動基準の設定 ・指揮命令系統(VIP対応業務)の確認 ・外部協力体制の整備 ・対策本部・支部設置方法(業務時間内外とも)					
			緊急地震速報の活用及びシステム導入 ・職場別の社員退避・避難ルート・方法 ・部署別重要資産の退避手段・方法 ・お客さま・外来者の退避と保護 ・火災・危険物の安全確保の対策 ・環境汚染回避対策 ・その他2次災害防止措置					
緊急対策	退避・防護		・緊急地震速報の活用及びシステム導入 ・職場別の社員退避・避難ルート・方法 ・部署別重要資産の退避手段・方法 ・お客さま・外来者の退避と保護 ・火災・危険物の安全確保の対策 ・環境汚染回避対策 ・その他2次災害防止措置					
			・安全情報確認方法 (業務時間・内外ケース) (確認範囲は社員・家族まで) ・帰宅判断基準の整備 ・帰宅不能者対策(帰宅計画策定～ルート・非常措置等) ・勤員基準・方法					
	救助活動		・応急手当方法(組織・マニュアル) ・外部救助要請方法(組織・マニュアル) ・社外業務者救助方法					
	被害調査対応		・被害情報収集・報告方法(体制・チェックシート等マニュアル) (人的・物的・信用品(風評被害等)) (地域・ライフラン・交通状況) ・被害調査に付随する緊急判断・対処方法 (操業(業務)停止判断基準・停止方法の確立) ・火災等の2次災害防止措置等の実施結果報告 ・安全確認報告措置 (人的・物的健全性の報告等)					
復旧対策	復旧措置		・復旧計画策定(BCP手法の推奨) (復旧組織体制の整備) (原料・資機材、活動拠点・スペース確保) (臨時措置対応方法) (事業再開手順の確認) (サプライチェーンや外部支援体制、方法) (外部コミュニケーション:広報、ステークホルダ対応) (共助:地域復興の協力等)					
			・防災教育・訓練 (※防災士等公的資格取得等) ・広報(PR活動) ・災害ボランティア・支援活動等 ・被害シミュレーション					
その他	(その他)							

③第3分科会

テーマ：緊急地震速報の利活用

リーダー：竹山金伍〔(株)東海理化〕

—第3分科会2008年度活動は、あいぼう会会員に対し「緊急地震速報の利活用に関するアンケート調査」を実施し、会員がどの程度、そしてどのように緊急地震速報を利活用しているのかを調査し報告書を作成するとともに、企業における緊急地震速報のよりいっそうの利活用普及を図った。

1/8

あいぼう会会員各位  
緊急地震速報情報の利活用に関するアンケート調査  
作成 2008.10.08 あいぼう会第3分科会

**アンケートのお願**  
緊急地震速報は、地震発生後、大きな揺れが来る前に地震の危険を知らせてくれる重要な情報です。到来する地震の強さと到着時間を、迅速かつ確実に利用前に伝え、事前の適切な準備と訓練にもとづいてこれを正しく最大限に活用する必要があります。  
第3分科会では、緊急地震速報の利活用についてさらなる向上策を検討するため、会員各社様の活用事例や利活用の課題などのご利用状況をご多岐にさせていただきます。「アンケートと活用事例作成」にご協力をお願いいたします。  
アンケートは、事業所毎の記入をお願いしますが、代表の事業所を対象にして記入していただいても結構です。事業所間において大きな差がある場合は、個別の記入をお願いします。

**I 貴社の事業所概要**

1	会社名 (事業所名)	
2	所在地	
3	事業内容 (製造品名)	
4	敷地面積 m <sup>2</sup>	
5	社員数	

記入者名	
部署名	
電話	
FAX	

**II 事業所の形態、及び、立地場所**

1	事業所の形態	①事務所 ②工場 ③倉庫 ④接客施設 ⑤他( )	
2	事業所周辺環境	①工業地 ②農耕地 ③工業団地 ④自社ビル ⑤ビルテナント ⑥コンビニート ⑦住宅地 ⑧他( )	
3	立地場所	①平地埋立地 ②平地 ③海岸部 ④山面部 ⑤他( )	
4	過去の災害被災	①地震 ②津波 ③水害 ④火災 ⑤噴火 ⑥なし ⑦他( )	

**III 貴社の防災上で想定している地震**

	種類	想定される地震名	予震か？「チャード」	貴社の被害最大震度
1	外→内地震			
2	内陸型地震			

図2 緊急地震速報の利活用に関するアンケート調査用紙

(7) 運営委員会

運営委員によって月に1度開催され、あいぼう会の運営方針・活動スケジュール、新規入会者の承認、分科会の進捗状況報告等が話し合われた。また2008年8月から、運営委員会で承認された決定事項ならびに今後の活動スケジュールを、「運営委員会便り」という形式で会員全員に公開することとした。運営委員会便りは、あいぼう会のホームページの会員ページからダウンロードできるようにした。

## ●講演会等リスト

### 【正木和明】

- ・(株)ダッド講演会「地震から会社を守る～中小製造業のためのBCP策定セミナー～」, 2008年4月25日
- ・中村生涯学習センター地域ふれあい実践講座 災害から子供をまもるために第1回講座「東南海地震に備えて～その時、牧野学区はどうなるか?～」, 2008年5月19日
- ・社団法人長野県経営者協会「現代の企業リスクと事業継続経営(BCP)セミナー」第1部「製造業のための地震防災対策について～愛知県内12企業の事例から～」, 2008年5月27日
- ・豊川市危険物安全協会講演会「迫り来る東海・東南海地震に備えて～緊急地震速報の仕組みと活用～」, 2008年6月4日
- ・大阪地域防災防犯展「名古屋の製造業地震対策事例集～名古屋商工会議所編集事例集の紹介～」, 2008年6月20日
- ・愛知工業大学本山キャンパス公開講座(地域防災研究センター講座)「緊急地震速報の活用法」, 2008年7月5日, 7月19日
- ・豊田市自主防災会リーダー養成講座「地震被害を減らすための工夫と実践～地震被害のしくみと対策方法を考える～」, 2008年7月19日
- ・駒ヶ根市経営講座「企業における地震リスクとその対策～今こそBCP導入を～」, 2008年7月25日
- ・東海理化(株)地震防災講演会「地震被害のしくみと企業防災戦略」, 2008年9月18日
- ・豊明市市民提案型まちづくり事業「地域づくりと減災を考える」講演会, コーディネーター, 2008年9月24日
- ・愛知県建築指導課「被災建築物応急危険度判定士講習会」, 「地震に関する講演～緊急地震の仕組みと活用事例～」, 2008年10月8日
- ・愛知工業大学オープンフォーラム「ついに始まった緊急地震速報配信～何が起きているのか～」, 2008年10月18日
- ・中村生涯学習センター後期主催講座「みんなで協力して地震に負けない学区にしよう」講座, 「東海・東南海地震に備えて～その時、諏訪学区はどうなるか?～」, 2008年11月1日
- ・愛知工業大学本山キャンパス公開講座(地域防災研究センター講座)「地震について学ぼう」, 2008年10月25日
- ・神奈川大学エクステンション2008年度実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座「地域・企業・家庭防災カルテと防災教育」, 2008年11月13日
- ・日進市防災講座「東海・東南海地震に備えて～その時、日進はどうなるか?～」, 2008年11月29日
- ・(社)愛知県設備設計管理協会主催第9回市民講座「迫り来る巨大地震～そのときまでにあなたは何かできますか?～」, 2009年1月28日
- ・尾張東部五市消防連絡協議会研修会「緊急地震速報は使えるか?～尾張東部五市での可能性～」2009年2月13日
- ・土木学会中部支部「地震防災に関する講習会」, 「緊急地震速報の高度化・高度活用」, 2009年3月6日
- ・豊田市地震対策事業者連絡会講演会「企業における地震防災対策～今こそ事業継続計画～」, 2009年3月13日

#### 【入倉孝次郎】

- ・日本地震工学会 関西地震観測研究協議会主催セミナー「強震動予測レシピー新潟県中越沖地震や能登半島地震などに学ぶー」「強震動予測レシピ」, 大阪工大摂南大学大阪センター, 2008年4月11日
- ・第6回地球を考える会「中越沖地震と原子力発電所」, アークヒルズクラブ, 2008年4月14日
- ・(社)科学技術と経済の会 第36回技術予測シンポジウム「日本列島の地震動の最新研究と構造物に与える影響ー早急に対応すべき長周期地震動の課題ー」, コクヨホール, 2008年4月18日
- ・大阪国際サイエンスクラブ会員の集い「新潟県中越沖地震から学ぶ原子力発電所の耐震安全性の課題」, 大阪科学技術センタービル, 2008年4月23日
- ・名古屋大学防災アカデミー講演「原発と地震ー新潟県中越沖地震の教訓ー」, 名古屋大学環境学総合館1階レクチャーホール, 2008年6月16日
- ・耐震安全性に関するIAEA国際ワークショップ “Actions for Seismic Safety of Nuclear Power Reactor Facilities in the Nuclear Safety Committee of Japan and Lessons from the 2007 Niigata-ken Chuetsu-oki Earthquake”, 柏崎産業文化会館, 2008年6月19日
- ・安全工学シンポジウム「原子力発電所の新しい耐震指針の改訂と中越沖地震の教訓」, 2008年7月10日
- ・原子力安全システム研究所 定例講演会講演「耐震設計審査指針の改訂と新潟県中越沖地震の教訓」, 2008年7月23日
- ・京都大学連続公開シンポジウム「倫理への問いと大学の使命」第3回「研究の自由」における倫理 基調講演「科学者の倫理と行動規範」, 京都大学時計台百周年記念ホール, 2008年9月3日
- ・原子力安全フォーラム2009, 東洋大学井上円了ホール, 2009年2月24日
- ・Experts' meeting on Guidance for Evaluation of Seismic Hazards for Nuclear Installations (DS-422), Nuclear and Industrial Safety Agency, Ministry of Economy, Trade and Industry, Tokyo, Japan, 2009年2月26日～2月27日
- ・地震防災に関する講習会「強震動予測レシピは地震災害の軽減に役立つのかー中越沖地震, 岩手・宮城内陸地震など最近の被害地震に学ぶー」, 愛知工業大学 本山キャンパス, 2009年3月6日

#### 【建部謙治】

- ・天白南学区地域開設講座「環境建築学・安全計画から見る地域づくり」, 天白南コミュニティセンター, 2008年12月2日
- ・地震防災コンソシアム講演「企業防災について」, 地域防災研究センター, 2008年11月12日
- ・瑞若会教職員支部総会講演「緊急地震速報と企業防災」, 愛知工業大学本山キャンパス, 2008年6月28日
- ・豊田市立東保見小学校講演「地震時における通学路の安全」, 豊田市立東保見小学校, 2008年6月5日
- ・日本公園施設業協会中部支部記念講演「公園における子どもの安全」, 名古屋通信会館, 2008年5月26日

#### 【小池則満】

- ・静岡県道路協会平成20年度記念講演「中部の土木遺産をたずねて」, 2008年5月27日

#### 【西村雄一郎】

- ・西村雄一郎 A J U自立の家 第4回災害時要援護者避難支援セミナー「防災エンパワーメントのためのGISとその課題」, 名古屋都市センター, 2008年9月5日
- ・正木和明・小池則満・内藤克己・西村雄一郎(報告者)(財)日本建設情報総合センター研究助成事業成果報



告会「位置情報を利用した発災時建設現場のための災害情報システムの開発・実証実験」, はあといん乃木坂,  
2008年11月11日

【廣内大助】

- ・NPO法人ウェザーフロンティア東海DIG講習会講師「水害DIGの実践」, 名古屋国際センター, 2008年10月13日
- ・信州大学オープンキャンパス模擬授業「地図から災害を考えるー地理学が防災に果たす役割ー」信州大学教育学部, 2008年10月25日
- ・信州地質シンポジウム学術講演「糸魚川ー静岡構造線活断層帯の新知見ー松本～岡谷付近を中心にー」, 岡谷南高校, 2008年11月15日
- ・松本市役所庁内勉強会講師「活断層位置情報の公開について」, 松本市役所, 2008年11月25日
- ・NPO法人ウェザーフロンティア東海DIG講習会講師「気象DIG実習」, 天白コミュニティセンター, 2009年1月24日

【安江健一】

- ・中津川市鉱物博物館ミュージアムレクチャー「阿寺断層がやって来た」, 中津川市鉱物博物館, 2008年11月3日
- ・尾城山サミット記念講話「白川と阿寺断層～白川の過去・現在・未来～」, 尾城山山頂(岐阜県中津川市, 白川町, 東白川村境界), 2008年11月6日

【南部世紀夫】

- ・リスク工学研究会「緊急地震速報の概要と高度利用のための関連技術について」, 筑波大学, 2008年7月14日
- ・リスク工学研究会「文化遺産市街地を地震火災から守るための環境防災水利整備計画」, 筑波大学, 2008年10月6日

【佐武直紀】

- ・クボタ松下電工外装 住まいの耐震化対策セミナー「建物耐震化啓発教材『ぶるる』による木造住宅耐震化のポイント」, パナソニックリビングショールーム横浜, 2008年10月4日

●各種委員

【正木和明】

- ・中部近畿地方高山保安協議会委員
- ・愛知工業大学サイエンス大賞審査委員長(自然科学部門)
- ・岐阜県高等学校総合文化祭自然科学系部活動研究発表会・交流会審査委員長

【入倉孝次郎】

- ・日本学会議会員
- ・日本学会議連携会員
- ・独立行政法人防災科学技術研究所客員研究員

- ・内閣府中央防災会議専門調査会専門委員
- ・内閣府原子力安全委員会専門委員
- ・文部科学省地震調査推進本部地震調査委員会委員、強震動評価部会長
- ・文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員
- ・文部科学省科学技術・学術審議会測地学分科会臨時委員
- ・独立行政法人防災科学技術研究所ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究に関する運営委員会委員
- ・独立行政法人防災科学技術研究所強震観測事業推進連絡会議委員
- ・独立行政法人防災科学技術研究所研究開発課題外部評価委員
- ・独立行政法人大学評価・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会専門委員
- ・社団法人日本地震学会監事
- ・社団法人日本地震学会代議員
- ・社団法人日本地震学会 ASC2008 組織委員会委員
- ・社団法人日本地震学会 IASPEI 委員会委員
- ・社団法人日本地震学会災害調査委員会委員
- ・社団法人日本地震学会倫理委員会委員
- ・財団法人地震予知総合研究振興会サイスマテクトニクス研究会委員
- ・財団法人地震予知総合研究振興会地震防災評価機構運営会議委員
- ・財団法人原子力安全技術センター原子力施設の耐震安全評価手法に関する調査・耐震安全評価手法検討会委員
- ・財団法人震災予防協会監事
- ・日本活断層学会監事
- ・財団法人地域地盤環境研究所評議員
- ・京都府地震被害想定調査委員会委員
- ・リアルタイム地震情報利用協議会 K-NET データのリアルタイム利活用に関する調査・研究推進委員
- ・独立行政法人海洋研究開発機構南海トラフ巨大地震連動性評価研究運営委員・研究推進委員

#### 【建部謙治】

- ・豊田市都市景観審議会会長
- ・独立行政法人建築研究所「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発に関する検討委員会」委員、「ユニバーサルデザイン及び分野横断的課題への対応」分科会座長
- ・こども環境学会大会（東海）実行副委員長
- ・日本建築学会作品選集委員会支部選考部会長

#### 【小池則満】

- ・東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会 作業部会ファシリテーター
- ・愛知県ヘリコプターを活用した救急広域搬送のあり方に関する検討会 委員

#### 【岡田久志】

- ・日本建築学会・鉄骨工事運営委員会主査
- ・日本建築学会・鉄骨製作委員会委員
- ・日本建築学会東海支部構造委員会委員

- ・日本建築センター鉄骨系住宅構造審査委員／鉄骨系住宅構造評定委員会委員
- ・日本建築センター・電算プログラム審査委員会委員
- ・愛知県建築構造技術連絡協議会・建築構造専門識者会（専門分野：鉄骨構造）委員
- ・日本鋼構造協会・建築用薄板溶接接合設計施工指針作成小委員会委員
- ・アルミ建築構造推進協議会薄板分科会委員
- ・全国鉄骨評価機構・中部地区評価委員
- ・(株) 日本鉄骨評価センター・評価委員
- ・愛知建築確認検査サービス・構造性能評価委員会委員

#### 【曾我部博之】

- ・日本計算工学会 研究分科会委員
- ・日本建築センター 電算プログラム審査委員会委員
- ・愛知県建築住宅センター 耐震診断判定部会及び耐震改修評定部会委員
- ・日本建築学会 論文報告集査読委員
- ・日本建築学会 ソフトコンピューティング研究小委員会委員
- ・日本建築学会 構造物の性能最適化とロバスト性小委員会委員
- ・日本建築学会 卒業論文等顕彰事業委員会委員

#### 【成田国朝】

- ・ダム工学会評議委員
- ・地盤工学会中部支部評議委員
- ・豊田市建設工事総合評価技術審査会委員長

#### 【奥村哲夫】

- ・(社) 地盤工学会中部支部評議委員

#### 【西村雄一郎】

- ・社会福祉法人A J U自立の家、厚生労働省平成20年度社会福祉推進費補助金「GISを使った災害時要援護者避難支援システムのモデル整備事業」災害時要援護者の避難支援検討委員会委員

#### 【阿部亮吾】

- ・公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金（あいちモリコロ基金）予備審査員
- ・配偶者からの暴力防止及び被害者支援策調査研究会（名古屋市委託事業）研究会メンバー
- ・2009年度人文地理学会 大会準備委員会委員

#### 【廣内大助】

- ・日本地理学会災害対応委員会委員
- ・日本活断層学会涉外・広報委員会委員
- ・地球惑星科学連合教育問題検討委員会委員
- ・活断層情報整備検討委員会委員（社団法人日本測量協会）

- ・独立行政法人産業技術総合研究所活断層研究センター客員研究員
- ・須坂市誌自然編調査員

【安江健一】

- ・日本活断層学会編集委員会委員

【南部世紀夫】

- ・NPO リアルタイム地震情報利用協議会, K-NET データのリアルタイム活用に関する調査・研究, 広域防災ワーキンググループ, 委員

【佐武直紀】

- ・日本建築学会：建築物の減衰機構と最適減衰性能評価 WG 委員
- ・建築研究開発コンソーシアム：緊急地震速報システムの利活用研究会 委員

●業績リスト

○著書

【入倉孝次郎】

- ・入倉孝次郎：「揺れ」を予測する一活断層情報を防災に活かす一, 岩波科学, 2月号 特集, 活断層とは何か, pp.188-190 (2009)

【曾我部博之】

- ・曾我部博之 (分担執筆)：「実践やさしくわかる建築・都市・環境のためのソフトコンピューティング」, 丸善株式会社, pp.127-138 (2009.3)

【西村雄一郎】

- ・西村雄一郎 (荒井良雄編)：「中国都市の職場・家庭におけるジェンダー役割と生活時間配分」『中国都市の生活空間－社会構造・ジェンダー・高齢者－』, ナカニシヤ出版, pp.64-79 (2008.4)
- ・西村雄一郎, 岡本耕平 (野中健一編)：「農村の都市化－工場通勤労働の開始と日常生活の変化－」『ヴィエンチャン平野の暮らし－天水田村の多様な環境利用』, めこん, pp.213-231 (2008.4)
- ・山内太郎, 大西秀之, 西村雄一郎, 岡本耕平 (秋道智彌, 阿部健一編)：「生業転換とライフスタイルの変容」『モンスーンアジアの生態史 第3巻 くらしと身体の生態史』弘文堂, pp.85-106 (2008.5)
- ・西村雄一郎 (鶴本花織・西山哲郎・松宮 朝編)：「トヨタイズムの場所の意味」『トヨタイズムを生きる 名古屋発カルチュラル・スタディーズ』, せりか書房, pp.48-49 (2008.9)

【阿部亮吾】

- ・阿部亮吾 (鶴本花織・西山哲郎・松宮 朝編著)：「移民演劇は何を語るか－在日フィリピン人コミュニティの挑戦」『トヨタイズムを生きる－名古屋発カルチュラル・スタディーズ』, せりか書房, pp.126－137 (2008.9)

## ○論文（審査付）

### 【正木和明】

- ・佐口浩一郎, 元木健太郎, 瀬尾和大, 正木和明: 「濃尾平野西端部の不整形地下構造が平野西部の地震動に与える影響」, 日本建築学会構造系論文集, Vol.73, No.628, pp.883-890 (2008.6)

### 【入倉孝次郎】

- ・鶴来雅人, 香川敬生, 入倉孝次郎: 「強震動予測のための高域遮断フィルターに関する研究(その2) - 2005年福岡県西方沖地震の観測記録に基づく検討 -」, 本地震工学会論文集, Vol.9, No.1, pp.1-18 (2009)

### 【建部謙治】

- ・建部謙治, 吉岡竜巳: 「教師の防火教育に対する意識と防火対応能力」, 日本建築学会計画系論文集, No.634, pp.2599-2604 (2008.12)

### 【小池則満】

- ・小池則満: 「震災時における来院傷病者数予測モデルの構築」, 日本集団災害医学会誌, 第13巻, 第1号, pp.1-7 (2008.7)
- ・二村禎晃, 小池則満, 栗田敬司: 「社会的指標によるドクターヘリコプターシステム普及のための要因分析」, 土木学会安全問題研究論文集, Vol.3, pp.113-118 (2008.11)
- ・前田大輔, 小池則満, 井上保介, 野口宏: 「航空機事故発生時におけるドクターヘリの有効性評価」, 土木学会安全問題研究論文集, Vol.3, pp.119-124 (2008.11)
- ・齋藤成彦, 小池則満, 井上保介, 野口宏: 「高速道路事故におけるドクターヘリコプターを活用した救急活動に関する研究」, 土木学会安全問題研究論文集, Vol.3, pp.125-130 (2008.11)

### 【小橋勉】

- ・小橋勉: 「組織間関係論における埋め込みアプローチの検討: その射程と課題」, 経営学史学会年報, 第15号, pp.140-150 (2008.5)

### 【成田国朝】

- ・成田国朝, 木村勝行, 奥村哲夫: 「水位急低下に伴う浸透挙動と斜面の安定性評価について」, ダム工学, Vol.18, No.1(69号), pp.10-20 (2008.3)

### 【西村雄一郎】

- ・西村雄一郎, 岡本耕平, ソムキットブリダム: 「ラオス首都近郊農村におけるGPS・GISを利用した村落住民の生活行動調査」, 地学雑誌, pp.117-2, 568-581 (2008.4)

### 【阿部亮吾】

- ・ABE, Ryogo: "Gendered labor migration from the Philippines to Japan: Mapping "Philippine Pub space" into the Japanese context", Geographical Review of Japan, No. 81-2, pp.1-11 (2009.3)

【廣内大助】

- ・道家涼介, 佐藤善輝, 安江健一, 廣内大助:「阿寺断層帯中部, 加子母地区における変位地形と平均変位速度」, 活断層研究, 29号, pp.25-34 (2008.9)
- ・鈴木康弘, 渡辺満久, 中田 高, 小岩直人, 杉戸信彦, 熊原康博, 廣内大助, 澤 祥, 中村優太, 丸島直史, 島崎邦彦:「2008年岩手・宮城内陸地震に関わる活断層とその意義」, 活断層研究, 29号, pp.79-86 (2008.9)

【安江健一】

- ・道家涼介, 佐藤善輝, 安江健一, 廣内大助:「阿寺断層帯中部, 加子母地区における変位地形と平均変位速度」, 活断層研究, 29号, pp.79-86 (2008.9)
- ・道家涼介, 竹内章, 安江健一, 畠本和也, 松浦友紀:「GPS 観測データから見た北アルプス立山における最近の地殻変動」, 地震研究所彙報, 83巻, pp.193-201 (2008.12)

【佐武直紀】

- ・佐武直紀, 福和伸夫, 原徹夫, 太田賢治, 飯沼博幸:「地震防災教育のための津波実験装置の開発」, 日本建築学会技術報告集, 第29号, pp.321-324 (2009.2)
- ・飛田潤, 福和伸夫, 佐武直紀, 太田賢治, 小出栄治:「地盤・建物振動特性の現地簡易評価のための常時微動計測分析システムの開発」, 日本建築学会技術報告集, 第29号, pp.61-64 (2009.2)

○論文 (研究報告集・紀要等)

【正木和明】

- ・上田竹寛, 倉橋 奨, 正木和明, 入倉孝次郎:「P波最大加速度を用いた新たな震度予測手法の提案」, 愛知工業大学研究報告, 第44号 (2009.3)

【建部謙治】

- ・建部謙治, 田村和夫, 高橋郁夫, 南部世紀夫:「B C P 概念図を利用した企業の経営診断分析の提案」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, Vol.4, pp.36-38 (2008.7)
- ・建部謙治, 田村和夫, 高橋郁夫, 南部世紀夫:「企業防災カルテとその表現方法」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, Vol.4, pp.31-32 (2008.7)

【曾我部博之】

- ・曾我部博之:「ロバストを考慮した設計 1—シックスシグマ設計に基づく崩壊荷重のロバスト最適化—」, 日本建築学会大会 (中国) 構造部門 (応用力学) PD, pp.6-13 (2008.9)

【成田国朝】

- ・成田国朝, 木村勝行:「水位低下に伴う浸透挙動と安定性評価について」, 愛知工業大学研究報告, 43号 B, pp.97-104 (2008.3)
- ・奥村智美, 奥村哲夫, 成田国朝, 木村勝行:「固化処理した泥土の盛土材料への適用性に関する研究」, 愛知工業大学研究報告, 43号 B, pp.105-112 (2008.3)

【奥村哲夫】

- ・奥村哲夫：「TRD工法排泥の硬化特性と粒状固化による処理土の品質について」，土木学会第63回年次学術講演会概要集，pp.381-382（2008.9）

【西村雄一郎】

- ・西村雄一郎，小池則満，大洞祐貴子，落合鋭充，郷秀明，内藤克己，田頭庄三：「防災メールを用いた企業防災の提案」，愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書，pp.33-34（2008）
- ・大嶽 翔馬，松本 圭介，西村雄一郎：「学生の生活日誌調査に基づく大学防災対策の必要性の検証－パーソントリップ調査による学生の災害時行動に関する研究－」，愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書，pp.49-55（2008）

【廣内大助】

- ・廣内大助，安江健一：「3Dピット調査に基づく阿寺断層帯中部における1回変位量の検討」，愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書，vol.4(平成19年度)，pp.73-76（2008.7）
- ・安江健一，廣内大助：「地学現象を説明する教材の作成：地震を引き起こす活断層の説明」，愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書，vol.4(平成19年度)，pp.77-80（2008.7）
- ・廣内大助：「天白川の生い立ち（天白川流域の地形と地質から）」，私たちの天白川（第4回天白川展報告書）第一部天白川の姿，1.地形，pp.6-7，日進市（2009.2）

○その他（報告書など）

【正木和明】

- ・正木和明：「迫りくる東海・東南海地震に備えよ」，リスク対策.Com，Vol.10，pp.54-55(2008.11)

【建部謙治】

- ・建部謙治：「こどもと安全、日常的な危険や災害に対応する力」，こども環境学研究，Vol.4，No.2，pp.18（2008.8）

【西村雄一郎】

- ・正木和明，小池則満，内藤克己，西村雄一郎：「位置情報を利用した発災時建設現場のため災害情報システムの開発・実証実験」，(財)日本建設情報総合センター研究助成事業報告書，pp.42（2008.9）

【阿部亮吾】

- ・阿部亮吾：「多文化共生社会に根ざした企業の外国人防災に関する研究」，愛知工業大学地域防災研究センター編『地域防災研究センター年次報告書 Vol.4』，愛知工業大学地域防災研究センター，pp.56-59（2008.7）
- ・阿部亮吾：「『配偶者からの暴力被害者支援充実に向けた関係部署・機関の連携及び研修に関する実況調査』報告書」，配偶者からの暴力防止及び被害者支援策調査研究会（名古屋市委託事業、研究代表者：山口佐和子），名古屋市，第3章及び第4章第1節（2009.3）

【安江健一】

- ・安江健一：「阿寺断層がやって来た！」，中津川市鉱物博物館ミュージアムレクチャー2008，pp.1-19（2008.10）

【佐武直紀】

- ・佐武直紀：「設計用地震動の変遷と長周期地震動」, 建築と社会, 第 1041 号, 日本建築協会, pp.24-25 (2008.12)

○学会発表・プロシーディングス

【正木和明】

- ・上田竹寛, 倉橋 奨, 正木和明, 入倉孝次郎：「緊急地震速報の高度化を目指して P 波マグニチュードと高精度震度評価」, 日本地球惑星科学連合 2008 大会, S146-003(2008.5)
- ・佐口浩一郎, 倉橋 奨, 正木和明, 入倉孝次郎：「2007 年新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所における強震動特性と地盤構造の同定」, 日本地球惑星科学連合 2008 大会, S146-P013(2008.5)
- ・倉橋 奨, 正木和明, 宮越 研, 入倉孝次郎：「経験的グリーン関数法を用いた 2007 年新潟県中越沖地震の震源モデルの構築 (南東傾斜モデル)」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会, S146-P017(2008.5)
- ・田頭庄三, 正木和明, 入倉孝次郎, 倉橋奨：「高層住宅の固有周期における常時微動測定と設計値との差分に関する研究」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (中国), pp.155-156(2008.9)
- ・Kazuaki Masaki, Susumu Kurahashi and Kojiro irikura：「development of alarm network using Earthquake Early Warning」, The 14<sup>th</sup> World Conference on Earthquake Engineering, ID S05-03-018, Beijing, China (2007.10)
- ・Koichiro Saguchi, Kentaro Motoki, Kazuo Seo and Kazuaki Masaki：「Effects of the irregular underground structures on seismic wave propagation near the western edge of the Nobi Plain」, The 14<sup>th</sup> World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China (2007.10)
- ・Susumu Kurahashi, Kazuaki Masaki and Kojiro Irikura：「Phase dependent site effects empirically estimated」, The 14<sup>th</sup> World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China(2007.10)
- ・Norio Abeki, Iware Matsuda, Takahisa Enomoto, Kazuaki Masaki, Bartolome C. Bautista, Michael Schmitz, Manuel Navarro, Samuel Aquino Martinez and Taiki Negishi：「On the usefulness of microtremors for seismic microzonation: Case studies in 20 cities from six countries」, The 14<sup>th</sup> World Conference on Earthquake Engineering, Beijing, China (2007.10)
- ・倉橋 奨, 正木和明, 入倉孝次郎：「経験的グリーン関数法による 2008 年岩手宮城内陸地震の震源モデル構築」, 2008 年地震学会秋季大会合同大会, X1-062 (2008.11)
- ・倉橋 奨, 正木和明, 入倉孝次郎：「2008 年岩手宮城内陸地震の震源モデルの構築と波形シミュレーション」, 日本地震工学会大会—2008, pp.318-319 (2008.11)
- ・Takenori Ueda, Susumu Kurahashi, Kazuaki Masaki and Kojiro Irikura：「Improvement of Earthquake Early warning-Intensity estimation from P-wave Amplitudes」, 7<sup>th</sup> General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting, A32-09, Tsukuba (2008.11)
- ・上田竹寛, 倉橋 奨, 正木和明, 入倉孝次郎：「P 波最大加速度を用いた新たな震度予想手法の提案」, 平成 20 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, I-16 (2009.3)

【入倉孝次郎】

- ・入倉孝次郎：「活断層情報に基づく強震動予測の高度化」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会, 幕張メッセ (2008.5)
- ・入倉孝次郎：「日本学術会議の役割」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会, 幕張メッセ (2008.5)



- ・入倉孝次郎：「活断層からの地震発生予測の諸問題～岩手・宮城内陸地震を例として～」 「2008年岩手・宮城内陸地震の震源モデルと強震動 ―なぜ4000ガルの強震動が生成されたのか？―」, 日本活断層学会2008年度秋季学術大会 シンポジウム, 東京大学山上会館 (2008.11)
- ・入倉孝次郎：「Applicability of Strong Motion Prediction Recipe for Recent Disastrous Earthquakes」, 7th General Assembly of Asian Seismological Commission and Seismological Society of Japan, 2008 Fall meeting, Tukuba, Japan (2008.11)
- ・K. Irikura, S. Kurahashi and K. Miyakoshi：「Verification and Applicability of “Recipe” of Predicting Strong Ground Motions for Inland Crustal Earthquakes」, The IASPEI General Assembly in Cape Town (2009.1)
- ・K. Irikura：「Best-fit Source Model for Simulating Strong Ground Motions from the 2007 Niigata-ken Chuetsu-oki earthquake」, 8th International Workshop on Seismic Microzoning and Risk Reduction (8IWSMRR), Almeria, Spain (2009.3)

#### 【建部謙治】

- ・高橋郁夫, 建部謙治, 田村和夫：「新潟県中越地震による中小企業の被害の実態調査」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 B-2, pp.699-670 (2008.9)
- ・建部謙治：「遊具の簡易危険度チェックリストの作成」, こども環境学会大会ポスターセッション (2008.4)

#### 【小池則満】

- ・小池則満：「高速道路本線着陸の費用対効果に関する一考察」, 日本航空医療学会雑誌, Vol.9, No.2, pp.106 (2008.10)
- ・大洞裕貴子, 西村雄一郎, 田頭庄三, 内藤克己, 小池則満, 正木和明：「位置情報を利用した建設現場のための災害情報システムの開発と実証実験」, 平成20年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.489-490 (2009.3)

#### 【小橋勉】

- ・小橋勉：「航空業界のアライアンスの近年の展開」, 日本経営診断学会中部部会第29回部会 (2008.8.1)
- ・Tsutomu Kobashi：「Strategic Alliance and Strategy Formation and Implementation」, 2008 Academy of Management 68th Annual Meeting(2008.8.10)
- ・Tsutomu Kobashi and Natsuko Fujikawa：「A Research on Development of Inter-Organizational Learning: Through the case of an International Strategic Alliance」, International Conference on Business, Economics, and Information Technology, Nagoya 2009 (2009.3.9)

#### 【岡田久志】

- ・長谷直樹, 岡田久志：「ドリルねじによる柱はり接合部の繰り返し載荷実験Ⅲ」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (広島), 構造Ⅲ, pp.1069 - 1070 (2008.9)

#### 【成田国朝】

- ・中村吉男, 大根義男, 成田国朝, 奥村哲夫, 野村健一郎, 島崎勝, 水野孝浩：「アスファルト表面遮水型アースダムの地震時被害と補修」, 第40回ダム技術講演討論会, pp.43-52 (2008.2)

#### 【西村雄一郎】

- ・小池則満, 正木和明, 西村雄一郎, 村松佑規, 山村良太:「愛知工業大学における緊急地震速報を用いた避難訓練について」, 3 大学連携国際ワークショップ予稿集, 愛知工業大学本山キャンパス (2008.3)
- ・西村雄一郎, 岡本耕平, プリダム ソムキット:「ラオス・ヴィエンチャン近郊農村における自然利用の時間地理学的分析」, 2008 年度人文地理学会秋期学術大会, 筑波大学 (2008.10)
- ・Yuichiro NISHIMURA, Kohei OKAMOTO and Somkhit BOULIDAM:「Time-geographic analysis on natural resource use in a village of the Vientiane plain」, The Association of American Geographers 2009 Annual Meeting, Las Vegas, Nevada (2009.3)

#### 【倉橋 奨】

- ・Susumu Kurahashi, Kazuaki Masaki, Ken Miyakoshi and Kojiro Irikura:「Estimation of source model of the 2007 Niigata-ken Chuetsu-oki earthquake using empirical Green's function」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会予稿集 CD-ROM, S146-P017 (2008.5)
- ・Susumu Kurahashi, Kazuaki Masaki and Kojiro Irikura:「Phase-Dependent Site Effects Empirically Estimated」, 14<sup>th</sup> World Conference on Earthquake Engineering CD-ROM (2008.8)
- ・倉橋奨, 正木和明, 入倉孝次郎:「2008 年岩手・宮城内陸地震の震源モデルの構築と波形シミュレーション」, 日本地震工学会大会 -200 年概要集, pp.318 (2008.11)
- ・倉橋奨, 正木和明, 入倉孝次郎:「2008 年岩手・宮城内陸地震の震源モデルの構築と波形シミュレーション」, 日本地震学会 2008 年秋季大会予稿集, pp.137 (2008.11)

#### 【廣内大助】

- ・鈴木康弘, 杉戸信彦, 坂上寛之, 内田主税, 糸魚川一静岡構造線活断層帯重点的調査観測変動地形グループ (廣内大助ほか):「糸静線活断層 WebGIS のコンセプト」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会 (2008.5)
- ・松多信尚, 澤 祥, 杉戸信彦, 田力正好, 谷口 薫, 廣内大助, 石黒聡士, 佐藤善輝, 渡辺満久, 鈴木康弘, 糸魚川一静岡構造線活断層帯重点的調査観測変動地形グループ:「糸魚川一静岡構造線活断層帯中南部, 茅野～富士見～上円井の変動地形の再検討と写真測量システムを利用した詳細平均変位速度解明」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会 (2008.5)
- ・杉戸信彦, 松多信尚, 澤 祥, 谷口 薫, 田力正好, 廣内大助, 石黒聡士, 佐藤善輝, 渡辺満久, 鈴木康弘, 糸魚川一静岡構造線活断層帯重点的調査観測変動地形グループ:「変動地形からみた糸静線活断層帯中南部, 茅野～白州の断層構造」, 日本地球惑星科学連合 2008 年大会 (2008.5)
- ・今泉俊文, 石山達也, 大槻憲四郎, 中村教博, 越谷信, 堤浩之, 杉戸信彦, 廣内大助:「2008 年岩手・宮城内陸地震の地表地震断層調査」, 岩手・宮城内陸地震に関するシンポジウムー1 ヶ月後に分かってきたこと (2008.7)
- ・廣内大助, 杉戸信彦, 細谷卓志, 眞柄耕治, 吉岡敏和:「トレンチ掘削調査に基づく福井平野東縁断層帯の古地震活動」, 日本地質学会第 115 年学術大会 (2008.9)
- ・佐藤善輝, 道家涼介, 羽生孝史, 安江健一, 廣内大助:「阿寺断層帯中部, 加子母川左岸における変動地形と新規断層露頭」, 日本地質学会第 115 年学術大会 (2008.9)
- ・越谷信, 石山達也, 今泉俊文, 大槻憲四郎, 中村教博, 丸島直史, 杉戸信彦, 堤浩之, 廣内大助, 佐藤比呂志:「2008 年岩手・宮城内陸地震に伴う地震断層」, 日本地質学会第 115 年学術大会 (2008.9)
- ・今泉俊文, 石山達也, 大槻憲四郎, 中村教博, 越谷 信, 堤 浩之, 杉戸信彦, 廣内大助, 丸島直史, 三輪敦志:

- 「2008年岩手・宮城内陸地震の地表地震断層調査(1)」, 日本地理学会 2008年秋季学術大会(2008.10)
- ・今泉俊文, 石山達也, 大槻憲四郎, 中村教博, 越谷 信, 堤 浩之, 杉戸信彦, 廣内大助, 丸島直史, 三輪敦志:  
「2008年岩手・宮城内陸地震の地表地震断層調査(2)」, 日本地理学会 2008年秋季学術大会(2008.10)
  - ・鈴木康弘, 渡辺満久, 中田高, 小岩直人, 杉戸信彦, 熊原康博, 廣内大助, 澤 祥, 中村雄太, 丸島直史, 島崎邦彦:  
「2008年岩手・宮城内陸地震と活断層」, 日本地震学会 2008年秋季大会(2008.10)
  - ・廣内大助, 杉戸信彦, 細谷卓志, 眞柄耕治, 吉岡敏和:「完新世における福井平野東縁断層帯の活動」, 日本活断層学会秋季大会(2008.11)
  - ・杉戸信彦, 後藤秀昭, 廣内大助, 鈴木康弘, D.Enkhtaivan, J.Sukhbaatar, O.Batkhisling:「モンゴル Bulnay 断層中東部の左横ずれ変位地形の予察的検討」, 日本活断層学会秋季大会(2008.11)
  - ・鈴木康弘, 杉戸信彦, 坂上寛之, 内田主税, 糸魚川一静岡構造線重点調査観測変動地形グループ(廣内大助ほか):  
『「糸魚川一静岡構造線」活断層情報ステーションの Web 公開』, 日本活断層学会秋季大会(2008.11)
  - ・堤 浩之, 杉戸信彦, 石山達也, 今泉敏文, 丸島直史, 越谷 信, 廣内大助:「2008年岩手・宮城内陸地震の地表地震断層および既存の断層変位地形との関係」, 日本活断層学会秋季大会(2008.11)
  - ・谷口 薫, 澤 祥, 鈴木康弘, 渡辺満久, 松多信尚, 糸静線重点調査変動地形グループ(廣内大助ほか):「糸静線活断層系中部における変動地形の認定とピット掘削調査」, 日本活断層学会秋季大会(2008.11)
  - ・後藤秀昭, 杉戸信彦, 廣内大助, 鈴木康弘, D. Enkhtaivan, J. Sukhbaatar, and O. Batkhisling:「モンゴル・ブルナイ断層中央部の平均変位速度と活動間隔」, 日本地理学会 2009年春季学術大会(2009.3)
  - ・大西宏治, 廣内大助:「洪水ハザードマップを用いた図上防災訓練(DIG)の取り組み」, 日本地理学会 2009年春季学術大会(2009.3)

#### 【安江健一】

- ・田力正好, 安江健一, 柳田誠, 須貝俊彦, 守田益宗, 古澤明:「庄内川(土岐川)流域の河成段丘と地形発達」, 日本地球惑星科学連合 2008年大会予稿集, Q139-P006(2008.5)
- ・佐藤善輝, 道家涼介, 羽生孝史, 安江健一, 廣内大助:「阿寺断層帯中部、加子母川左岸における変動地形と新規断層露頭」, 日本地質学会第 115 年学術大会講演要旨, pp.273 (2008.9)
- ・丹羽雄一, 須貝俊彦, 大上隆史, 田力正好, 安江健一, 藤原 治:「複数のボーリングコア解析に基づく濃尾平野における完新世後期の地震性隆起」, 日本第四紀学会講演要旨集, pp.98-99 (2008.8)
- ・YASUE Ken-ichi, Homitsu SAEGUSA, Hironori ONOE, Ryuji TAKEUCHI, and Tadafumi NIIZATO:「Study for Evaluation of the Influence of Long-term Climate Change on Deep Groundwater Flow Conditions: integration of paleo-climatology and hydrogeology」, Proceedings of 36<sup>th</sup> IAH Congress, total 7 pages (2008.10)

#### 【高橋郁夫】

- ・高橋郁夫, 建部謙治, 田村和夫:「新潟県中越地震による中小企業の被害の実態調査」, 日本建築学会大会梗概集 (B-2), pp.699-700 (2009.9)

#### 【佐武直紀】

- ・佐武直紀:「実測データに基づく建築物の減衰定数の傾向分析」, 第 57 回理論応用力学講演会講演論文集 NCTAM 2008, pp.337-338 (2008.6)
- ・佐武直紀, 太田賢治, 飯沼博幸, 福和伸夫:「地震防災意識啓発のための津波模型の開発」, 日本建築学会大会学術講演梗概集(中国), E-2 分冊, pp.683-684 (2008.9)

- ・森伸一郎, 五江洩通, 佐武直紀, 太田賢治, 小出栄治:「長周期域をデジタル補正した可搬型微動計の開発」, 全地連「技術 e- フォーラム 2008」高知 (2008.10)
- ・佐武直紀, 福和伸夫, 飛田潤, 小出栄治, 太田賢治:「比較的長周期域での振動特性評価のための可搬型微動計の開発」, 日本地震工学会・大会 2008 梗概集, pp.124-125 (2008.11)

【小出栄治】

- ・K. Kanda, T. Nasu, M. Miyamura and E. Koide :「Development of Site-Specific Earthquake Early Warning System for Hazard Mitigation」, Proc. of 14WCEE, Beijing, China (2008.10)
- ・N. Fukuwa, J. Tobita, M. Mori, E. Koide and T. Hanai :「Development of Vibration Experiment Education Materials for Structural and Soil Dynamics」, Proc. of 14WCEE, Beijing, China (2008.10)
- ・小出栄治, 佐武直紀:「建物耐震化啓発のための繰返し実験用木造住宅倒壊模型」, 日本地震工学会・大会 2008 梗概集, pp.180-181 (2008.11)
- ・神田克久, 那須正, 宮村正光, 小出栄治:「緊急地震速報にオンサイト警報を付加した早期地震警報統合システム」, 日本地震工学会・大会 2008 梗概集, pp.300-301 (2008.11)